

新ごみ処理施設整備・運営事業設計建設工事請負 工事かわら版

3月よりの地盤整備工事及び敷地外周の擁壁く体工事も無事に完了し、本月より建物本体の杭工事が始まり建設工事も本格的になってまいりました。安全第一をつねに念頭に置き、工事車両については目久尻川沿いの道路を徐行運転させております。

◇ 工事の概要

工期 ; 平成27年6月23日～平成31年3月31日

建物 ; 地下3階 地上10階

鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造

◇ 工事現況

4月から6月までは埋設物撤去工事、敷地内地盤改良工事、擁壁く体工事、山留工事、敷地内盛土工事、防災調整池工事を実施いたしました。

7月も山留工事、防災調整池工事を継続しておこなうと共に本体建物杭工事、掘削工事及び基礎く体工事をおこなう予定です。

(下図 工程表を参照ください。)

◇ 工程表

工種	4月	5月	6月	7月	8月	9月
造成工事	埋設物撤去工事					
	地盤改良工事・擁壁工事・敷地内盛土工事					
外構工事		防災調整池 山留工事・掘削工事			防災調整池 く体工事	
建物工事			山留工事			
					本体建物 杭工事	
					掘削工事(ゴミピット含む)	
					基礎く体工事	

注) 赤字は工事完了を示す

◇ 環境について

工事搬入車両が増えてまいります。特に下記事項を徹底して作業をおこないます。ひきつづき工事用ゲートには交通誘導員を配備し、円滑な車両誘導をおこないます。

- ① モニタリングによる騒音・振動遵守の徹底
- ② 場内アイドリングストップの徹底
- ③ 搬出時のタイヤ清掃の徹底
- ④ 搬入出ルート of 指導を徹底しスムーズな運行をはかる。

◇ 安全について

大型重機を使用する杭工事、掘削工事、く体工事がメインとなります。下記事項を徹底して作業を行います。

- ①重機との接触災害の防止
- ②墜落・転落災害の防止
- ③資材の整理・整頓の徹底

工事現況



全景 平成28年5月末 撮影



平成28年6月 山留工事 状況



平成28年5月 擁壁く体工事 状況
※敷地外周に設置

『今後予定工事』

- 本体建物 杭工事



参考写真

本体建物の支持杭は、プレボーリング埋込み工法（ハイエフビー工法）を採用しています。

鋼管巻き杭（SC杭）杭径800φ～1200φを170本、約13m下の支持層に打込みます。杭工事は約4ヶ月にわたり施工いたします。低騒音・低振動の機械を使用します。

- ゴミピット掘削工事



参考写真

6月～7月にかけて山留工事（SMW-H鋼とセメントの連続壁）をしたゴミピット部分にて地下15m以上の掘削工事をおこないます。

掘削にともない、ダンプトラックにて土の搬出をおこないます。低騒音・低振動の機械を使用します。又搬入出時の誘導を徹底します。

- 基礎く体工事



参考写真

地下ゴミピット以外の基礎く体工事をおこないます。鉄筋の組立て、型枠の建て込み、コンクリート打ちこみをし、本体建物の基礎を作っていきます。

コンクリート打ちこみ時、50～100台程度のコンクリートミキサー車の搬入出がありますので、ゲート廻りの誘導を徹底すると共に、目久尻川沿いの道路は安全を考慮し、徐行運転を実施いたします。